伊豆の国市観光地エリア景観計画(案)に対する 意見公募(パブリックコメント)についての回答

※以下、各項目や意見内容によって、提出意見をまとめて記載しています。

(1)歴史景観エリア

項目	意見	回答	計画(案)の 修正の要否
3 景観特性と課題 歴史・文化の拠点を結ぶ	車を規制 専用(遊歩道)に、②道を広げるの意見がある、どちら にしても住民の生活が第1である(優先)。この計画が区民にとっ	観光地における関連整備については、地域住民の生活環境に配慮すべきであると考えています。今後とも、当市の観光行政並びに景観行政への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。	(修正不要)
【9ページ】 6 景観施策(案)と実施主	宝仏像)から守山東駐車場までの間。守山東駐車場を「願成就院 駐車場」と命名し、車を誘導し、願成就院までの450mを徒歩で誘	つわかりやすい誘導は重要であると考えています。現在、道路上 に設置されている誘導案内看板の中には、設置後から長い年月を 経たものもあり、今後、自動車、自転車、歩行者の正確な誘導や	(修正不要)

(6) 海自早期テリマ

(2)温泉景観エリア			
【8ページ】 6 景観施策(案)と実施主 体・時期	考える。現在、市内の街路灯、防犯灯の整備を実施していて、令和3年度には、長岡地区での施工を予定している。その機会に合	ての人が景観に関する意識を高め、景観形成の意義を理解し、それぞれの役割と責任を認識しつつ、主体的に取り組むことが重要です。そのために、目に見える形をつくることで、関心を持ってもらうようにすることは重要であり、関わる方々の理解促進や主体性をより強固なものにすると考えられます。市では、今後、令和3年度に温泉場や周辺の街路照明の整備を計画しており、令和2年度に、地域の住民や事業者等とのミーティングを進め、整備に向けた	(修正不要)
【8ページ】 6 景観施策(案)と実施主 体・時期	るため(店舗、民間、旅館など)協力が必要。(いつの年代に宿場、大正ロマンなどの雰囲気を決めることにより、照明、看板、サイレント等が決まる) ・空き家店舗活用・・見る、食べる、買う、体験をすることが再び訪れたくなる仕掛けが必要 ・佐賀県にチームラボのアートの森「呼応するランプの森」など宿泊客が体験できる参考に。	温泉場には、伊豆長岡見番をはじめ伊豆長岡温泉の歴史・文化を感じることができる貴重な建物や、懐かしさを感じられる雰囲気の商店等がいくつも残されています。温泉場や温泉場を含む周辺の景観形成は、まず、そこに住む方々や事業を営む方々が、どのような景観が相応しいのか、また、未来にどのような景観を残していきたいのかという観点で考えていくことが重要であり、その上で、住民、事業者、行政が一体となって景観形成に向けた動きを協働して進めていく必要があります。いただいた御意見については、今後の参考とさせていただきます。	(修正不要)
【9ページ】 6 景観施策(案)と実施主 体・時期 方針2一①	案内板を設置(反射炉、韮山城跡地、富士山等) ・ベンチなどの設置 ・桜が老木などで次の植栽が急務 ①体験型として頂上から日本一の滑り台を整備	源氏山には山頂に至る遊歩道が既に整備されており、旅館事業者等による「源氏山七福神めぐり」や春には桜を楽しむ方々が多数います。また、源氏山は、古奈温泉と長岡温泉の2つの温泉場の間に位置し、伊豆長岡温泉の周遊という観点からも、今後、源氏山山頂を含む周辺環境について、景観に配慮した魅力的なエリアとなるようソフト・ハードにおける取組を検討していく考えです。いただいた御意見については参考とさせていただき、湯汲み式をはじめ伝統行事等の無形文化も含めた地域資源の活用と情報発信について関係団体等と連携を進めていきます。	(修正不要)

(3)自然景観エリア

(3)日然京観エリア			
【7ページ】 6 景観施策(案)と実施主 体・時期	マが冷え固まり、浸食によって地表に現れることでできる岩頸と呼	城山は露出した岩肌が特徴的で、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの主要なジオサイトの一つです。今後、城山の魅力をより引き出しつつ、観光資源として活かしていくことが重要と考えており、登山道についても、地域、民間、行政による一体的な保全・活用の考え方と仕組みづくりを進め、必要な整備を進めていきたく考えています。ビューポイントの整備については、今後、可能な範囲で整備を検討し、当市の魅力を発信するコンテンツの一つとしたく考えています。	(修正不要)
【10ページ】 7 景観施策(案)のイメー ジ図 ⑥⑪	短期の間に取り組み始めるという表現かもしれません。そうでなければ、 「自然環境の保全や登山道の整備、景観維持」については長期的な取り組みで、未来へ渡す資源であり、子供たちに、より伊豆の国	じて、3~5年以内に着手していくことを目標とするものを短期、取組までに5~10年程度の期間を要することが想定されるものを中・長期として記載しています。したがいまして、短期に記載したものであっても、短期で取組を終了するわけでなく、内容に応じて継続していくものであり、そのための持続可能な仕組みづくりが重要であると考えています。なお、短期、中・長期の考え方は、あくまでも、現時点における想定であり、状況の変化等によって、前後する	(修正不要)

(4)農業景観エリア

(1)及木灰的—))			
【1ページ】 1 対象エリアの概要	(浮橋地区、田中山地区、高原地区)にある。将来の観光農業を考	市内の中山間地域には農業景観の良さがあり、農業体験や食を 楽しむことができるツーリズムとして、魅力あるコンテンツになりう ると考えられます。いただいた御意見については参考とさせていた だき、中山間地域の農業振興や活性化につながる新たな魅力づく りとなるよう、地域や農業者等の取組等を支援していきたいと考え ています。	
【1~7ページ】 地形 短期的、中長期的取組	で、レンゲ畑などを考えてみてはどうでしょう。 田園風景の維持が困難となってきている。 荒廃農地対策が重要である。 眺望環境整備のために、伐採ができるのであれば、田園風景維持	田園風景を維持するためには、農業生産の維持が重要であり、荒廃農地対策や休耕地活用について、引き続き、生産者や農業関連団体等と連携して、必要な取組を進めていきます。いただいた御意見については参考とさせていただき、農業生産振興とともに、新たな消費喚起や市内周遊につながる取組について、検討を進めていきます。	(修正不要)

(5)観光地エリア景観計画(令和元年12月27日)

(5)観光地エリア景観計画	(令和元年12月27日 <i>)</i>		
伊豆の国市観光地エリア景観計画の考え方	伊豆の国市景観計画では、反射炉周辺を景観重点整備地区に定めている。また、江川邸周辺地域と温泉場周辺地域を今後の重点整備地区の候補にあげていた。今回の4エリアの内、温泉景観エリアについては、景観計画と同じ考え方となっているが、農業景観エリア、歴史景観エリア、自然景観エリアのゾーニングは、理解しがたいところがある。韮山地区だけに歴史的なものが集積しているわけでもなく、大仁地区に自然景観の要素がまとまっているとは考えにくい。前述したように農業景観は、大仁地区にも見るべき景観要素があります。		(修正不要)
地域景観ミーティングの実施	エリア景観計画策定のためのミーティングではなく、日ごろから、 市の景観施策について考えていく市民、事業者の会を継続的、長 期的に開催していく取り組みの必要性を感じます。 ミーティングで出た意見を令和2年度改訂の「観光基本計画アク ションプラン」に反映させるとあるが、本来は、アクションプランの基 本的な考え方が先行すべき。観光基本計画の見直しと再構築が 望まれる。	景観形成は、市民、事業者、行政が一緒になって進めていくものであり、市の景観施策について、市民、事業者に関心を持っていただくことは重要であると考えています。地域景観ミーティングでは、多くの意見や提案等があり、それらを内容に応じて、本計画並びに今後改訂する観光基本計画アクションプランと連携させ進めていくことが重要と考えています。	(修正不要)
伊豆の国市観光地エリア 景観計画の策定に向けた 流れ	「観光地エリア景観計画」を実行するスケジュールとその財源を明示すべきである。	観光地エリア景観計画を策定した後、本計画に基づき、具体的な整備を進めるための「観光地域づくり整備計画」を策定します。財源については、観光地域づくり整備計画に定めた内容について補助対象となる「静岡県観光地域づくり整備事業費補助金」や国の地方創生交付金等の活用を検討しています。	(修正不要)